

へる、月の歌へる、波の歌へる、緑の星の

歌へる、聖歌隊)

大手拓次の詩と人物

岸田国士と小説

ねこどりの眼、雷氣——南洋旅行記より抜萃——

瓦斯管、化石 (*散文詩二篇)

黒い象形の文字 (*散文詩)

赤ネクタイ

発展の衝動

迷信

或る質疑

余白に

ヴィオロン声の少女

吸血鬼

(*廣告)

第三回油絵個展目録

文学の主題性について

中野秀人氏個展評

遺稿 (*詩——秋、遠い枝枝のなかに、恋人を抱く

空想、西藏のちひさな鐘さびしいかげ、雪が待つ

てある、髪、道化服を着た骸骨、落葉のやうに)

大手拓次

遺稿 (*詩——風、断章、みたま、冬、花火、梧桐、

自分、空、柿の木)

八木重吉

遺稿 (*詩——秋、遠い枝枝のなかに、恋人を抱く

空想、西藏のちひさな鐘さびしいかげ、雪が待つ

芸術時評

寄本司麟

106	102	96	95	95	86	85	80	76	75	74	73	72	68	66	57	54	44	32	
110	105	101					94	84	79		75	74	73	71	67	65	55	53	43

第一卷第三号 昭和十年十二月号 一日發行

別の形態に就いて (演劇時評)	丸山定夫	新方法論	西欧に於ける Fairy と Elfes	世界宗教と民族宗教	アマランタ (*戯曲)	櫻櫻の旗——或は、無神論者の Elegy — (*詩)	寂寥の神経図 (*散文詩)	徒勞 (*小説)	ドリウ・ラ・ロシエル作、本吉進訳	杉森孝次郎	村松正俊	岡本潤	中野秀人	矢野目源一	村松正俊	杉森孝次郎	大鹿卓	浅原六朗	草野心平
過渡期の舞踊 (舞踊時評)	麻上俊夫	世界宗教と民族宗教	アマランタ (*戯曲)	櫻櫻の旗——或は、無神論者の Elegy — (*詩)	寂寥の神経図 (*散文詩)	徒勞 (*小説)	ドリウ・ラ・ロシエル作、本吉進訳	杉森孝次郎	村松正俊	岡本潤	中野秀人	矢野目源一	村松正俊	杉森孝次郎	大鹿卓	浅原六朗	草野心平	勝承夫	勝承夫

136	136	129	122	121	119	118	115	113	110										
136	136	129	122	121	119	118	115	113	110										
135	128																		

77	64	61	56	47	22	13	6	2											
76	63	60	55	46	21	12	3												

わが浪漫主義
ロマンチズムの情熱

閑筆

「絶望の逃走」に就て

ホワット・ナット

芸術時評

三つの作品（映画時評）

転形期の国語・詩の新体など（詩時評）

「面白くない」舞踊（舞踊時評）

秋の美術界展望（美術時評）

ことしの文壇及び作品一二（小説時評）

犠牲になつた女（*小説）

北原白秋生誕五十年記念白秋を歌ふ夕（*プログラム）

編輯後記

奥付

林房雄 浅原六朗 新居格 萩原朔太郎 佐多聰矢

島津保次郎 遠地輝武 麻上俊夫 寄本司麟

青野季吉 村山知義

大木惇夫 藤田義雄

遠地輝武 麻上俊夫 寄本司麟

青野季吉 村山知義

大木惇夫 藤田義雄

遠地輝武 麻上俊夫 寄本司麟

青野季吉 村山知義

大木惇夫 藤田義雄

遠地輝武 麻上俊夫 寄本司麟

青野季吉 村山知義

遠地輝武 麻上俊夫 寄本司麟

真田幸村論
——個性の再認識——
文明の流れ
創造的現実主義論
——一つの覚え書——

目次

第二卷第一号 昭和十一年一月号

一日発行（通巻4号）

38 27 6 2
5 5 5 5
45 37 26 3

134 134 110 109 98 96 90 87 84 82
5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
133 108 97 96 90 87 84

日本民族性と新詩
沈鐘／曉闇／健忘（*詩）
（*創刊号～前号目次）
否定／貌（*詩）
相続税 喜劇（*戯曲）
ジョン・パードイと波

原一郎 栗本芳雄
糸聖歌 向井長民

中野秀人 藤田義雄

須藤鐘一 本吉進

府川恵造訳

萩原恭次郎 唐端勝

小山東一

浅原六朗 林房雄

萩原恭次郎 唐端勝

118 116 110

106 102 101

109 102

103

92

62 60 59

54 54

53 53

春さきの時代（詩時評）
先づ報告的に（音楽時評）
新刊紹介 人生劇場映画化さる！
深夜の運転手（*小説）
アバートの悲劇（*小説）
編輯後記

国際ベルヌ條約を脱退すべし
鑽鮮花／鮑花／指／骨牌／襟足（*詩）
「悪しき血」より —遺稿—（*散文詩）
アルチウル・ラムボ才作、
まだ生きてゐる
ゲーテの処世術
芸術時評
十二月の文壇（小説時評）

原一郎 栗本芳雄
糸聖歌 向井長民

中野秀人 藤田義雄

須藤鐘一 本吉進

府川恵造訳

萩原恭次郎 唐端勝

小山東一

浅原六朗 林房雄

萩原恭次郎 唐端勝

118 116 110

106 102 101

109 102

103

92

62 60 59

54 54

53 53

144 134 129 128 126 123 120
5 5 5 5 5 5 5
143 133 128 126 123

118 116 110
5 5 5
119 118 115

第二卷第一号 昭和十一年一月号 一日発行 (通巻5号)

目次

- 詭弁を戒む —若き詩人のために—
文学の歪形 —詩及詩人の仕事について—
哈爾賓 (*小説)
(*前号、前々号目次)
- 太陽のない日／闘ひ／唐手／母珊瑚／途上／
たそがれ／菜苑にて (*詩)
- レンズ／風邪／遠国 (*詩)
- エスカリエ
- 病床妄語
- 中野秀人君へ
美しい奥さん (*小説)
- ヘルマン・バール作、竹田敏行訳
- 大木惇夫
萩原朔太郎
澤木隆子
- 南方研作
- 川路柳虹
中野秀人
- 萩原朔太郎

142110	99	96	94	86	85	84	81	76	75	16	11	6	2
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
141109	98	96		93		85	83	80	74	15	10	3	

144

第二卷第三号 昭和十一年三月号 一日発行 (通巻6号)

目次

- 芸術時評
- 演劇戯曲の批評家 (演劇時評)
- 批評の危機 (文壇時評)
- 不安な詩属以下 (詩時評)
- 擬古主義の返り咲き その他 (詩壇時評)
- 新喜劇界の展望 (レヴュー時評)
- 道徳の頽廃
- 美と愛と創造の芸術
- 詩の擁護 —文壇人の詩への無関心に就て—
密林抄／甕列 (*詩)
- 彼女／心／夢／酔ひどれ (*詩)
- (*前号、前々号目次)
- エスカリエ
- 知識の弁
- 『出発の前そして出現』に就て
- 大黒河の声
- 自分の途上
- 音をきくと色の見える話

内田勇三郎	82	77	75	68	66	63	60	51	37	26	19	2
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
佐藤惣一郎	78	76	70	69	68	67	63	60	51	37	25	3

142

ポウル・ヴァアレリー

エドマンド・ウイルソン作、鈴木幸夫訳

古谷綱武
92
95
98

83
85
91

首（＊デツサン）
巡錫暮景／闇／偶／偶／偶／偶（＊詩）
編輯後記

中野威馬雄
中野、大木
96
98

寄本司麟
平野威馬雄
中野、大木

虚を衝かることなど 文芸雑記帳
「貧時交」評
二人分の契約（＊小説）

局清

112

奥付
編輯後記

奇跡（＊小説）
ガストン・シェロオ作、本吉進訳
中野立也
中野、大木

ガストン・シェロオ作、本吉進訳
中野立也
中野、大木

112
112
104
99
95
98

第二卷第五号 昭和十一年五月号 一日発行（通巻8号）

目次

生活と文明との融合

女（＊デツサン）

旅中詩篇 宿で／釣橋／山の子供／途（＊詩）
街詩集 街角／歩道／街路樹／噴水／ガード下／

交番／飾窓／広告氣球／橋／ポスト（＊詩）
雪景（＊散文詩）

朴の花（＊詩）

続自分の途上

プロ文壇遠望 一作家クラブと、森山、島木一

断想 曲線と直線

悪／雨中感懷／悲心（＊詩）
青龍梅／白櫻／敷柑子（＊詩）

白虹／氷結（＊詩）
雨の中の猫（＊小説）

『月光詩篇』ノオト
現象論の意義

表情 一私は顔のことを言つてゐるのでは
ない－

物のあはれの感じ方

内田勇三郎
芝山恵三

105
104
110

高橋丈雄
十辺一

102
100
103
102

埃及脱走（＊戯曲）
（＊新協劇団）三月公演夜明け前第一部、前号目次

囚人（＊詩） シュツペルヴィエル作、堀口大學訳
月光詩篇 一黒川早太の心境記録（＊小説） 高橋丈雄
エスカリエ

中野秀人
中野秀人

52
44
43
6
2
5
5
42
3

第二卷第四号 昭和十一年四月号 一日発行（通巻7号）

目次

埃及脱走（＊戯曲）

（＊新協劇団）三月公演夜明け前第一部、前号目次

囚人（＊詩） シュツペルヴィエル作、堀口大學訳
月光詩篇 一黒川早太の心境記録（＊小説） 高橋丈雄
エスカリエ

中野秀人
中野秀人

52
44
43
6
2
5
5
42
3

村松正俊
中野秀人
岡本潤

14
13
6
2
5
5
16
12
3

長田恒雄
小野十三郎
平野威馬雄
伊井龍吉
與田準一
岡崎清一
永瀬清子
水上不二
中群節一

17
17
17
17
17
17
17
17
17

122
122
112
111
121

田舎くらし（＊小説）

ガブリエル・ミロー作、花野富蔵訳

五つのネガティーヴ（＊小説）

藪田義雄

擬態（＊小説）

編輯後記

奥付

本吉進
中野・大木

80 80 67 59 51
79 66 58

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

村松正俊

花野富蔵訳

藪田義雄

擬態（＊小説）

編輯後記

奥付

本吉進
中野・大木

80 80 67 59 51
79 66 58

第二卷第六号 昭和十一年六月号

一日発行（通巻9号）

目次

がらがら蛇に喰はれた男の話 —短篇集— 中野秀人

芸術論
—第一部—

優れたる西歐

ハーバート・リイド著、足立重訳

中野秀人

ユウゼン・デヨラス著、鈴木幸夫訳

中野秀人

平野威馬雄

中野秀人

瘴癪咒符韻（＊詩）

中野秀人

誰でもが病ましく／明日になれば／棘／蟬

中野秀人

とりで

中野秀人

殺人犯を捕まへろ！

中野秀人

ラムボウの現代的意義

中野秀人

妻から見たチエホフ

中野秀人

第二卷第七号 昭和十一年七月号

一日発行（通巻10号）

目次

著者の悲哀（或る季節外れの詩人から）

芸術論（承前）

薔薇の咲く頃

（＊前号、前々号目次）

リリシズムと主知的なリイド

—恋愛詩百篇』を読んで

『大木惇夫

ハーバート・リイド著、足立重訳

中野秀人

萩原朔太郎

中野秀人

春山行夫

中野秀人

平野威馬雄

中野秀人

岡本潤

中野秀人

ラムボーについて

中野秀人

帝院改組其他

中野秀人

『愛撫の園』より（アラビヤ古詩）

中野秀人

フランツ・ツッサン作、川路柳虹訳

中野秀人

中野秀人

目次

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

村松正俊

花野富蔵訳

藪田義雄

擬態（＊小説）

編輯後記

奥付

本吉進
中野・大木

80 80 67 59 51
79 66 58

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

80 80 79 78 72 67
78 71 66

日本文明と西洋科学
悠かな詩的認識の石亭『北園克衛「鯢」』の
為めのアンテールメード』

平野威馬雄
伊井龍吉

続プロ文壇遠望
（＊前号目次）

少年工（＊デッサン）

編輯後記

奥付

寄本司麟

中野・大木

8

草野君の詩集『母岩』

春への招待に答へて —詩集のためのエッセー—

土方定一

莊原照子

(*前号、前々号目次)

枝の祭 (*詩)

白／火 (*詩)

カルルとの夜 (*詩)

小市民の日曜日 (*詩)

小市民の日曜日 (*小説)

編輯後記

奥付

昭和十一年十月作品号

一日発行

(通巻12号)

安部宙之介

岡本彌太

草野心平

大木惇夫

高見耿太郎

高橋丈雄

三好十郎

伊井龍吉

高見耿太郎

高橋新吉

2

2

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

<p

目次

卷頭言

山頌（*詩）

言語と西洋文明への統

跨橋鬼／啾啾／白李／偶／偶（*詩

通信 — 博多より —

うめぐせにひとゝ

不安と現代的生活

時計と黒猫 散文詩風なメルヘン

官
編集後記

奥付

第二卷第十一号

昭和十一年十二月号
一日発行

(通卷14号)

目次

卷頭言

敵 — 喜劇 — (* 戲曲一幕)

癲癇

移転／亡娘／山荘／雨の灯／日蝕／金堂附

近(詩)

口ノ一座

岡本弥太
三好十郎

30	26	23	2	1	表 紙
↓	↓	↓			
29		25	22		

村松正俊 大木惇夫 村松正俊 平野威馬 中野秀人 高橋丈雄 水橋葉吉 藪田義雄 長谷川浩 藪田

40	32	27	22	21	20	14	4	2	1
39	31	26		21	19	13	3		

女性と今日の問題——社会性なき女性——
（＊エクリバン）九、十、十一月号目次
人工地獄（第三回）（＊小説）
編集後記

水橋葉吉

48 48 38 37 31
 \\$ \\$
 47 37

エクリバン社版『エクリバン』について

欧文題号は「ÉCRIVAN」。昭和十年十月創刊。翌昭和十一年十二月発行の第二巻第十一号まで計十四冊。毎月一日発行。昭和十一年八月号のみ刊行されていない。菊版。発行所エクリバン社、発行人藪田義雄。編輯人も藪田義雄だが、第二巻第三号から第八号の間のみ大木惇夫・中野秀人。発行人および編輯人住所は「東京市豊島区目白町二ノ一五六九」、発行人住所のみ第二巻第三号から「東京市神田区旅籠町一ノ一〇」となり、第二巻第八号から「東京市外砧村大藏一八三五」。編輯人住所は第二巻第九号から「東京市外砧村大藏一八三五」。

印刷所は昭和印刷株式会社（創刊号～）、眞興社（第二巻第三号～）、株式会社文成社（第二巻第四号～）。

創刊号は全一四四ページ。第二巻第三号から漸減し、翌九月刊行の第二巻第八号で「九月革新号」と銘打つが、実際には全四十ページの薄さとなっている。定価五十錢、第二巻第三号から三十五錢、第二巻第八号から終刊まで十五錢。表紙デザインおよび本文カット、中野秀人。九月革新号から同人制となる。同人は、三好十郎、中野秀人、高橋新吉、高橋丈雄、小山東一、藪田義雄、村松正俊、村山知義、伊井龍吉、大木惇夫。

大妻女子大学図書館・日本大学総合学術情報センター所蔵原本を参考した。

（村田裕和）